

環境技術実証モデル事業検討会
VOC処理技術ワーキンググループ会合（第2回）
議事要旨

1. 日時：平成16年6月30日（水）13：00～15：00
2. 場所：経団連会館11階1105号室（天平）
3. 議題
 - （1）第1回会合議事概要について
 - （2）実証試験要領について
 - （3）実証機関の募集について
 - （4）実証機関への応募団体からのヒアリング
 - （5）実証機関の選定について
 - （6）ジクロロメタン等処理技術 実証試験要領について
 - （7）今後の検討スケジュールについて（予定）
 - （8）その他
4. 出席検討員 坂本和彦（座長）、小淵存、加藤征太郎、山川洋平
欠席検討員 岩崎好陽
実証機関関係者（東京都）：寺田正敏、佐藤 博、仲井広重
東京都環境科学研究所：占部武生、辰市祐久、樋口雅人
5. 配付資料
 - 資料1 VOC処理技術ワーキンググループ会合（第1回）議事概要
 - 資料2 酸化エチレン処理技術実証試験要領（第2版）
 - 資料3 平成16年度環境技術実証モデル事業実施要領の確定と対象技術分野の追加について
 - 資料4 平成16年度環境技術実証モデル事業 酸化エチレン処理技術分野 実証機関の応募の受付開始について
 - 資料5 （審査結果記入用紙 非公開資料）
 - 資料6 （各団体からの申請書類 非公開資料）
 - 資料7 ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術について
 - 資料8 ジクロロメタン等処理技術 実証試験要領作成の方向性
 - 資料9 今後の検討スケジュールについて（予定）

参考資料

- 1 環境技術実証モデル事業パンフレット（第2版）

6. 議事

会議は非公開で行われた。

(1) 第3回会合議事概要について

- ・資料1を配布し、意見等については事務局が個別に受け付け対応することとなった。

(2) 実証試験要領について

- ・資料2を配付し、事務局から、前回のワーキンググループ会合での指摘等を踏まえ、修正の上、6月9日に公開したことについて説明。

(3) 実証機関の募集・選定について

- ・事務局から、資料3、4、5に基づき説明。
- ・応募団体からのヒアリング審査の結果については、資料5の様式に記入することを確認した。

(4) 実証機関への応募団体からのヒアリング

- ・実証機関への応募団体から、資料6に基づき、実証試験の実施体制や実証試験を行う設備等の事項についてヒアリングを行い、質疑を行った。

(5) 実証機関の選定について

- ・実証機関への応募団体からのヒアリングを踏まえ、実証機関の選定についての議論を行った。
- ・実証機関の選定結果については、応募団体に通知し、結果を公表した後、環境省と選定された団体との間で委託手続きを行う旨、事務局から説明を行い、了承された。

(6) ジクロロメタン等処理技術 実証試験要領について

- ・事務局から資料7、8に基づき説明。
- ・試験方法については、めっき脱脂槽からの溶剤蒸発を再現した試験(A案)及び溶剤蒸気を決められた濃度や流量で人為的に発生させる試験(B案)が提案されたが、B案の方がより比較可能な試験結果を出せるという意見が出され、次回の会合までに事務局が作成する実証試験要領案は、B案に基づき作成することが了承された。
- ・処理対象ガス気体(機器へ流入するガス)中の水蒸気量がの処理性能に与える影響が大きいと考えられるため、温度及び湿度のコントロールが重要になるという意見が出された。

(7) 今後の検討スケジュールについて

- ・事務局から、資料9に基づき説明。

- ・酸化エチレン処理技術については、実証試験終了後、本ワーキンググループにおいて実証試験結果報告書についての検討を行なう予定である旨、事務局から説明が行なわれた。
- ・また、次回のワーキンググループ会合では、ジクロロメタン等処理技術試験要領についての検討を行う旨、及び次回からジクロロメタン等処理技術に詳しい検討員を数名追加する予定である旨、事務局から説明を行い、了承された。

(8) その他

(特になし)

(文責：環境省環境管理局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)